

## 新病院建設工事が始まりました

新病院開院に向けて、令和2年11月より、立体駐車場の建設工事が始まりました。そこで、今後のスケジュールについてご案内します。まず、令和3年2月より、新病院棟の建設工事に着手します。新病院の開院は令和6年1月となります。その後、3号館及び渡り廊下棟の改修、1号館と2号館の解体工事をします。また、1号館と2号館の跡地に駐車場を整備します。

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
立体駐車場建設工事				
新病院棟建設工事				
			令和6年1月開院	
3号館・渡り廊下棟改修工事				

## 新病院では何が変わるの？

- 集中治療室（高度ICU）を救命救急センターと区分して整備し、重症患者の受け入れを行います。
- 救急外来に県下初のハイブリッドER装置を配備し、血管内治療等を必要とする重症救急患者の受け入れを行います。
- 患者さんに関わるアメニティの充実を行います。

※ハイブリッドER…初期治療から緊急手術までに必要な検査・医療機器（血管造影装置・CT・手術台など）を集約した救急室



## ★浜松市の安全・安心を守り、高度急性期医療を発揮する新病院の5つのコンセプト

- 周辺地域との調和<周辺環境に調和する段上緑化と曲面デザイン・地場産材の活用>
- 救急関連部門の集約<救急と手術・ICUのゾーン化とサポート部門の適正配置>
- 見守りやすい病棟<患者の容態が把握しやすく、看護動線の短い病棟>
- 分かりやすい動線<明快な主軸動線により各機能を分かりやすく配置>
- 既存病院との連携<既存病院との明快な機能分化とフラット接続の上空連絡通路>



## 外来駐車場の移設について

新病院建設工事に伴い、第1駐車場は、下記のとおり移設しました。

また、立体駐車場建設のため、第3駐車場は閉鎖しました。ご不便をおかけいたしますが、ご協力お願ひいたします。



# ふれあい



## 新病院建設工事開始

病院開設より47年、皆様の安全・安心を守ってきました浜松医療センターは、新病院に向けて大きな一步を踏み出しました。いよいよ、令和3年2月より、新病院建設着工となります。

今後も定期的に新病院の進捗状況についてお知らせ하겠습니다。

## 目次

- ①新型コロナウイルスのQ&A～年末年始から受験対策まで～
- ②新病院プロジェクト NO.1
  - ・新病院建設工事が始まりました
  - ・新病院では何が変わるの？
- ③外来駐車場の移設について



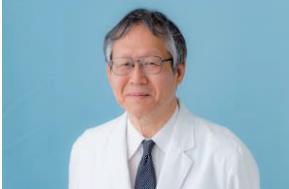
発行：浜松医療センター  
〒432-8580 浜松市中区富塚町328  
TEL 053 (453) 7111  
URL <https://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください



# 新型コロナウイルスのQ&A～年末年始から受験対策まで～

新型コロナQ&Aは右記  
QRコードからご覧いただけます。



院長補佐 兼 感染症内科部長  
矢野 邦夫

年末年始による帰省や、受験シーズンをむかえ、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されます。

全世界で新型コロナウイルスが流行しており、様々な情報が飛び交う中、新型コロナウイルスに関する疑問や不安を感じていることと思います。

そこで、当院院長補佐・感染症内科部長矢野邦夫が、患者の皆さまの疑問や不安に対し、Q&A形式で回答します。正しい知識を身につけ、感染を予防しましょう。

帰省した場合にはどのように気を付ければよいでしょうか？



受験生には、どのような感染対策がお勧めでしょうか？

新型コロナウイルスの流行地に住んでいる人が非流行地に帰省するのは避けてほしいと思います。逆に、非流行地に住んでいる人が流行地に帰省するのも自粛してほしいと思います。しかし、どうしても帰省せざるをえない状況というものがあります。そのような場合、どのようにして新型コロナウイルスの感染予防をすればよいのでしょうか？

帰省すると、帰省先(実家など)の家族と数日間の濃厚接触をすることになります。一緒に食事をしたり、同じ部屋で寝たり、大声で会話したり、様々な活動がおこなわれます。これらのどれもが、新型コロナウイルスを伝播させやすい状況といえます。新型コロナウイルスの同居家族での感染率は10~40%と言われており、かなりの頻度で感染します。そのため、十分な対応が必要です。

まず、同居家族に高齢者や慢性疾患(心臓血管系、呼吸器系、糖尿病など)のある人がいる場合には、そのような人を確実に感染から守ることがとても重要です。感染した場合には重症化し、死亡することがあるからです。そのためには、飛沫予防と手指消毒を徹底することが大切です。手指消毒は20~30分毎に繰り返します。

家族内であっても、マスクの着用をしてほしいのですが、家の中で24時間マスクをすることは実際には困難です。そのため、高齢者や慢性疾患のある人から1~2mの距離を離して生活することをお勧めします。帰省したのに、そのような接触は難しいと思われるかもしれません、「Withコロナ」の時代に突入したのですから、「Beforeコロナ」の生活を持ち込んではいけないです。

帰省者は自宅であっても、別室で寝泊まりします。それが難しければ、高齢者や慢性疾患のある人を別室にします。そして、食事では同じ皿に複数の家族が箸で触れないように、とりわけしておきます。コップなどの共有も禁止です。唾液の交換は是非とも避けたいと思います。バスタオルや顔拭きタオルも共有しないようにします。トイレのタオルはこまめに交換します。

食後の食器や洗濯物をどうするかということですが、食器は通常の洗剤による洗いで十分です。また、洗濯物も同様であり、家族のものと一緒に洗えばよいのです。洗剤で洗った食器や洗濯後の洗濯物は感染源にはなりません。

チェック  
ポイント！！

帰省者もしくは高齢者や慢性疾患のある人は別室で生活する。

家族全員がマスクを着用する。

20~30分毎に繰り返し手指消毒をする。



帰省時も受験対策も、標準的な対策の徹底が重要です。



新型コロナウイルスが体内に侵入する方法は2つだけと思ってください。「感染者から2メートル未満のところにいて、その人の口や鼻から飛び出す飛沫を吸い込む」「人々の手指が頻繁に触れている環境表面(ドアノブや手すりなど)にウイルスが付着していて、そこに手指が触れて、そのまま自分の目や鼻などの粘膜に触れる」です。これさえ避けなければ感染しません。そのために、マスクを着用して、頻回に手指消毒します。



- マスクは毎日交換するか、毎日洗濯。
- タオルを共有しない。洗濯は一緒で可。
- 外出して、人混みに入るときには常にマスクを着用。

手指消毒を頻回に実施。最も適切な手指消毒のタイミングは「ドアノブ、手すり、マスクなどに触れた直後」、「自分の鼻や目の粘膜に触れる直前」ですが、そのような絶妙なタイミングでの手指消毒は不可能なため、次善の策として、「20~30分毎に手指消毒をする」。

学校や予備校などの昼食時には、会話をすることを避け、壁を向いて一人で食事をとり、食後はすぐにマスクを着用。もちろん、手指消毒も実施。

自宅では食事は時間差とするか、自室で一人で食事。

自宅内であっても、受験が終わるまでは家族との距離が2メートル未満であれば、常にマスクを着用。

自宅であっても、油断しない。

